

2019年度 修士論文題目

1	19世紀英国植民地時代のスリランカにおける「カトリックリバイバル」 —プロテスタント宣教の課題—
2	旧約聖書における過越の祭りと他の祭儀との関連について
3	障がいを生きる上での「信仰」が与える影響に関する質的研究
4	「荒野の試み」(マタイの福音書4章1-11節)の意味をめぐって
5	10人の娘のたとえ話(マタイの福音書25章1-13節)の解釈
6	伝道者の書3章11節における עֲלֹם の解釈
7	日本のキリスト教信徒における「神への恐れ」とその意味
8	五書における安息日規定
9	伝道のイメージと役割に関する質的研究
10	申命記における「聖なる民」
11	Ⅱ列王記5章19節「安心して行きなさい」の解釈 異教社会日本に生きるキリスト者への適応
12	ローマ人への手紙6章6節における 『キリストとともに十字架につけられる』の解釈
13	日本における日韓宣教協力の課題に関する質的研究と宣教の可能性への提言
14	加藤常昭の説教論 —福音派における継承の課題と展望—
15	イエスの救い —罪びとの女との出会い—
16	ヨハン東京キリスト教会の弟子訓練に関する考察 —ヨハン・スピリット功罪—
17	ユース世代にミニストリーと教会ができること ～hi-b. a. を事例対象とした質的研究～